

## 5月10日の基準価額の下落について

2022年5月10日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

### 【該当ファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース (愛称：バイリンガル)	10,479円	-580円	-5.24%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド (愛称：未来インフラ)	16,880円	-895円	-5.04%
パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド（3ヵ月決算型） (愛称：未来インフラ（3ヵ月決算型）)	9,910円	-523円	-5.01%

### 【市場動向】

	5月6日	5月9日	6日から9日の騰落率
MSCI米国REIT指数	1,368.93	1,308.18	-4.44%
S&P500種株価指数	4,123.34	3,991.24	-3.20%
ナスダック総合指数	12,144.66	11,623.25	-4.29%

	5月9日	5月10日	9日から10日の騰落率
日経平均株価	26,319.34	26,167.10	-0.58%
TOPIX(東証株価指数)	1,878.39	1,862.38	-0.85%
円/米ドル	130.78	130.03	-0.57%

### <下落の背景について>

9日の米国市場は、株式やREIT等が下落しました。現在の金融市場では、主に欧米諸国を中心としたインフレ率の上昇とそれに伴う金融引締めへの動き、そして中国のゼロコロナ対策に伴うロックダウン（強制的な行動制限）が、いずれ世界的な景気減速を招くと懸念されています。昨日はその傾向がより強まったと推察されます。従来の景気回復期の金利上昇局面では、REITの発行企業は需要の回復や価格転嫁等の企業努力によって金利上昇を吸収することができ、その結果、金利上昇への耐性があるとも言われます。しかし年初以降のFRB（米連邦準備制度理事会）の金融引締め方針への転換以降、米国金利（10年債）は昨年末の1.5%から足元では3.0%と、約4ヵ月強で倍水準に急ピッチで上昇した為、金利上昇分をすぐに転嫁できていない状況と考えられます。そうしたファンダメンタルズ状況を反映して、米国主要REIT指数の年初来パフォーマンスはS&P500指数並みの下落率となっています。しかしREIT市場も株式市場同様に、景気感応度の高低や依然として中長期的な成長性が見込めるセクター等、様々なセクターで構成されており、ポートフォリオ内のセクター分散が非常に大切な局面と考えています。短期的には以上のような不安材料に振り回される状況が続くものと予想されますが、下落局面は優良銘柄を割安に買うことができる好機と捉えながら引き続き慎重に運用して参ります。

■当資料は、「5月10日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## 重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

### 【お申込みに際しての留意事項】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧ください。

### 【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

#### ●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.3%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「5月10日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

